

一九四七年、日一、反る変の皇軍慰問金を集
 め、一〇四名の会員より、合計七四五十七弗を
 得、領事館を通して日赤に送る。
 一、ネ、日系青年会創立十五周年記念大演芸会
 が青年中心の盛沢山のプログラムで催され、
 一九四八年、日本代議士、中村嘉壽氏の講演
 があつた。同年五月、メ、パールリッパが墓地に
 日系先亡者七十余基に及び、墓標も亦、墓土
 地も荒廃しあるを患へ、一、農舎は墓土標の
 書き置きを行つた。

講演

10x20

日赤

日赤

一九三七年現在の調査に依ると、毎年の生

産過剰から、資材を温室業者に投入する人が増

し、フシカ海岸では、不十分の中心にあり、ハ

モロド、ロソト、ド、合せて十五、温室五

十五棟、その総面積十六万九千九百四の平方

呎という莫大の産業に発展した。主として温

室ト、ト、及びキ、ユ、カ、バの栽培を、冬

期頗る有利な産業にあらうた。毎年の副業として

始め、一斗々拡張して専業にあらうた人も数人居

る。

以下に統計表を、好成績を、示す。

10x20

8

左	右	フ	ピ	ハ	各	山	式	宮	入	左
の	の	ク	の	モ	の	の	の	の	の	の
投	投	イ	山	石	岡	山	崎	崎	小	の
収	収	ト	田	川	崎	崎	益	政	坂	こ
額	額	云	啓	童	音	騰	藏	古	和	の
約	約	末	共	助	吉	二	三	三	一	年
二	二	廣	一	三	三	二	三	三	二	の
十	十	い							棟	温
万	万		藤	永	永	吉	吉	西		室
弗	弗		井	井	井	原	原	路	露	禁
・	・		五	五	五	林	林	太	木	者
生	生		部	部	部	一	一	郎	徳	は
産	産		二	二	二	市	市	八	太	
屋	屋					場	場	六	郎	
は	は					管	管	棟		
市	市					理	理			
場	場									
管	管									
理	理									

法下に統制販売をし好成績を挙げてた。

10X20

9

10X20

一九三九年三月、英王ジョージ六世陛下並に
皇妃同道にてカナダ訪問あり各地にて執
行の奉迎あり。農令はメプルリッパ村舎に
力めて移西院市の市路に大アキを
同年三月、農令公私に及ぼした土屋一逸氏
は家族同伴歸国する。同船にて山崎山教師も歸
国せられたり。
同年五月、物政府は一般に自動車運轉試
験を施行したが、英語の出来ぬ日本人のた
め通訳付で受給することとを許し、農令木

一、九四〇年一月三日、祖國華語二十六万
 紀念大演藝會の催しあり、当日はバ
 かり立正爆笑隊と一、座加應援し翌朝二時
 半に到り漸く終演とあつた
 持つており四十八名受験し全部合格した。
 語学校教師、婦人會幹部として答辭せられ
 左吉野悦子さんは義女栄嬢同伴歸国せられ
 いた。その頃日米人關係の約半数が自動車
 一ルに於て、自動車に關する口舌試験を受

10X20

排日感情論と我々
 加賀の排日土地伝説以来、こゝに
 排日感情を育み、一九二五年に起つたマニ
 ホールの日系児童隔離教育問題その他排日
 運動が實際化し、いだけて、一般の排日感情
 は高まるばかりであつた。コレは沿岸の各農
 村に生い立つ日系児童は、生れながらの力十
 分人であるが、公立小校の一年中行事は殆ど
 従来は決して名譽の位置につけなかつた。例
 えば、マニホールの日系児童は、出さ、

10X20

は	を	エ	十	絶	は	う	委	ハ	を
い	東	一	余	望	サ	レ	員	イ	侍
け	い	加	名	的	藤	た	会	校	女
ホ	者	シ	、	ホ	室	フ	に	長	と
い	は	氏	全	満	子	ハ	に	に	し
レ	い	の	部	い	を	イ	そ	て	て
フ	け	二	婦	き	推	ス	の	出	出
ハ	ホ	人	人	か	薦	ク	推	し	て
イ	い	た	で	起	さ	ル	薦	て	貰
ス	レ	け	男	つ	る	ル	方	事	う
ク	フ	私	は	た	ル	と	を	に	あ
一	張	あ	ワ	の	と	、	頼	り	、
ル	奉	つ	イ	七	オ	オ	ん	マ	マ
カ	権	た	氏	校	オ	、	だ	ク	レ
ハ	の	の	と	か	イ	ラ	の	次	レ
生	玉	一	新	ら	の	し	の	の	レ
徒	民	英	社	の	代	い	の	の	レ
の	の	西	の	表	二	娘	の	の	レ
投票	子	臣	デ	二					レ
に	供	氏							レ

10X20

H3

に依つて再撰さすべし。ホド口口に日系娘及
討論が豁然と起つた。ワイ氏と同じ学校代表
のワイリヤムス夫人が、日系の辯士に入つと
総政變を受けける始末。その時の議長はポール
夫人という村の学務委員長をして、英玉育
ちで教養ある夫人であつた。議論はとうとう
ハイスクリルへ、生徒の一般投票で改選して
貰う事を採決するまでに成つた。せつぱつち
に議長は、ワイ氏にしきりに眼を合圖する
の始めから沈黙を守つていて、奇想天外の議

10X20

H4

論を黙々と聴いていたワイ氏がスツと立つた
 の一同の視線は彼れに集まつた一隊長さん
 問題の八重子は一、生れつきの英和民です
 カ+タの憲法に明記してあるから何人もこれ
 を拒むことは出来ないのでまたカ+タの教育理
 想は明確に人種偏見を禁じているからまた五々
 のに、テ、エ、の定款には、特に皮膚の色や
 宗教に依つて差別しない事を宣明している
 私は惟う、今夜皆さんはじめて、テ、エ、の憲法
 やカ+タの教育理想に正反對で、一将軍取り返

10X20

H5

しのつかない誤つた最悪の手本を、無邪気な
学校児童全体の前にくり広げんとしてゐる。
今吾等委員会が決議せんとして、いふ事を再吟
味して頂きたいと惟う。有難う。ワイ氏が座
ると同時に、一大奮闘した議長ポール夫人はテ
ブルをたたいて叫んだ。「もう議論の余地は
無い、吾々は耻じ入るべきである。この議案は
の提案者と賛成者にこの議案の撤回をお願い
します。もしそれが出来なければ、私は議長
を辞し、ついには下手な敵の委員を引きます。こ

10x20

H6

の劇的、一場面があつて、二時
 けた排日決戦案も出来たと
 八重子も日系最初のノード
 として晴れるの、ノード
 ことに成つたの、ノード
 にフレカ、沿岸各村の、ノード
 には、児童の差別待遇が、ノード
 来、これと、教育方面の排日
 は、あつた。それ、次

10x20

H-7

同年三月、農会長、幹事などの幹部役員と
 して手腕を顯ひ、尽瘁せられた土屋一逸氏は
 家族同伴帰郷せられた。同船に三崎山おき元
 教師も歸郷する。

一九四〇年一月三日、祖元二千六百年記念
 大演芸会が開催あり。当日はパンケリバチ
 立正爆笑隊一座が應援に参加、翌日午前二時
 半に漸やく閉幕。

昭和二十六年奉祝大演芸会
 一九三九年一月三日

10x20

K-6

一、	換	舞	台	監	督	古	加	四	郎
二、	式	三	番			ラ	ス	キ	乙
三、	能	唱				田	中	君	子
四、	給	日	傘			望	月	菊	江
五、	即	席	問	答		ハ	ネ	一	青
六、	野	崎	あ	い	り	及	川	豊	子
七、	阿	呆	陀	羅	經	入	現	二	笑
八、	高	桑	る	ん	べ	青	年	會	員
九、	踊	一	給	日	傘	料	治	る	み
十、	漫	才				晚	市	鈴	家
						輪	蝶	宇	野

10X20

67

一、	踊、	並木道、	梶浦和子、	永井房江、	望月安子
二、	恒唱、				磯島政子
三、	手品		映市	渡辺順治	
四、	奉天の鉄線		料治万子、	延壽君子	
五、	落語		立正青年会員		
六、	東京今日レキナ		婦人会員		
七、	歸郷情の落		山本文江、	梶浦和子	
八、	独唱		映市	沢絹子	
九、	踊、	妻恋道中、	川島、	古津、	小柳、
十、	独唱		映市、	穴谷、	高橋二嬢
					古賀四嬢

10x20

68

廿一、手品	廿二、琥珀の門出	廿三、大切り、女席心得帖	右は普通演芸会と呼ばれる村の行きのプロ	ケラムの兄本で、茲にその一つを揚げ、その	当時の思ひ出の資料とした。
婦人會員	少年會員	少年會員	少年會員	少年會員	少年會員

10X20

R-10

今、苺農家の副業、養鶏、
 苺産業は腐敗し易く、雨、霜、害虫、病菌
 などの被害も時々あるのを、苺に代る
 事は危険であり、自然種から副業が始める
 ための中、養鶏が最も大きい副業であつた
 の。この副業から苺、野菜の鶏糞肥料が出来る
 ので、苺作との好い組合せであつた。一九九
 四年の調べでは、養鶏副業農家は二十九戸
 で、鶏の総数は一万八千八百羽であつた。その
 人々には、小田村、望月兄弟、磯島兄弟、池田

10X20
4-1

今田、神崎、田村兄弟、中村、北川、吉田、	松岡、宮崎、谷口、久永、米山、山崎、吉野、	大谷、広渡、吉田民富、岡崎、式崎、雅皮、	、有座、小田口、清水の諸氏であつた。	一九四〇年現在（農者協同会調べ）	フレキバール日系農家の現状	フレキバール河沿岸に散在する日本人農家総数	五百六十一戸、人口参千六十八名	所有地面積、八千八百六英加	借地面積	五百十四英加
----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	------------------	---------------	-----------------------	-----------------	---------------	------	--------

10X20

4-2

10x20 y:3

一九四〇年四月、力十知五民登録、十六才
 以上の男女の一般登録を要す。通訳者、有賀
 山家、吉田、富橋、大村二嬢、万一の非常
 時突発のため用意した。か。た。り。
 同年十一月、英王臣民以外の者は爆薬を使
 用、保有、売買する事を禁止せしめ、その命令あり
 。ワイ氏村令に出頭し、洞窟利用に狭く爆薬の
 特別許可を要求した。村令はりり、氏を任命
 し日本人洞窟地の爆薬を取扱はしめた。

外務省記録
 大田成仁

10X20

5-6

一九四〇年の議會に、時の文相ウエヤーは
士が、議會に提出した「外語取締規則」は
殆どを討論で、州議會を通過した。それによ
と、外語學校を經營せんとする者は、預書
を、文部視學官に提出し、その許可を得べし
の視學官は外語學校に對しても、公立學校
と同様、教師の任免、科目の決定、その他全
部の權を持つといふのである。この規則は
これはその当時暴露された、在力ダのド

10x20

Y-4

イソが、イタリヤの語学校で本国の西樺主成
を教へたことと取締りのために出発中のとき、
勿論日本語学校に就いても、西樺教育の疑は
差障つていたことは當然であらう。
日本人の再登録は一九四〇年の春クリスマ
ス前には調査（家族、財産、所有地）を詳細に
調査せしめた。オタワ政府から派遣された四人
の調査官の報告に基づき、正當入国の日本人
保護のためと称して再調査を行い、登録カー
ドを二ヶ月のうちに決定せられた。但し何時如何

10X50

Y-5

ある方法を調査記録するかは未詳。

外語取締法規による、日本語学校経営許

可申請に關し、フレカバレ、教育会は、緊急

會議をオノツクに開き、加勢読本を使用し、

善後策を講ずることにかつていた。能るに佐

藤傳氏より、こし、教育会（日本文部省読

本）と一致行動をとるやう要求あり、遂にフ

レガバレ、教育会で作った對應策はお流北と

あった。へ、農村はこし、日本語教育会

に連絡しており、大体の協力はしているが、

10X20

4-7

過去十余年、善良なる力と父市民たるべき二
世に日本国民教育の教科書を教える事は絶体
不可なる二とを主張し、加わらん、是の
、

に提出して、即時開校許可を受けた。

同年一般公衆に呼びかけ、力と加え玉運動
に協力するよう勧告した。

一九四一年八月七日、日本人特別登録を午

前十時から開始し、九日午後一時全部登録を

終る。同登録に關し、幹事廣渡、吉津、山家

、有賀の諸氏の援助多大であつた。

10X20

4-9

10X20

4-8

過去十余年、善良なる力加市民たるべき二
 世に日本国民教育の教科書を教える事は絶体
 不可なることを主張し、加州読本を使用し来
 つた。口を以て此に日本語教育会の席上常
 にハネー代表は親軍奮闘を続け来たの如
 なるが、外語取締り法下にあつても、他校の
 如く教科書の玉粹的部分を切りとり、やう周
 章狼狽する必要は更になかつた。
 △一九二一年一月、ハネー日本語学校及び分
 校は平素使用してゐる加州読本を加州文部当局

10x20

4-8

配	と	が	ト	毎	一	は	喜		
意	英	、	口	作	埋	ハ	十		
は	語	彼	ヤ	リ	は	不	郎		
彼	を	ル	リ	を	か	一	氏		
れ	書	の	一	し	リ	部	ハ		
に	いた	郵	を	て	入	以	当		
宛	紙	便	摘	い	つ	テ	時		
了	宛	受	升	た	た	テ	死		
た	を	け	終	の	所	テ	身		
、	残	返	つ	ラ	に	テ	ハ		
郵	し	一	て	ス	幻	テ	の		
字	て	ア	姿	バ	人	テ	消		
新	いた	イ	を	リ	の	カ	思		
夢	た	ゴ	消	一	二	カ	加		
を	か	一	も	か	軒	テ	絶		
比	で	ミ	た	無	と	テ	え		
ミ	、	ミ	沢	い	隣	に	た		
ワ	郵	ソ	を	つ	接	約	同		
シ	便	ソ	あ	て	し	四	氏		
リ		ル	な	ス	て	分			

添田 誠

10x20

S-1

五、 約二週間、彼れが居る所、寝台の下に
 入れてある。彼れの厚皮製のスリッパを
 鋭利な刀物で縦横に切つてあるのを発見した
 の。こればたまたま、盗人の化装でもあ
 る。判る。家の前に束の間、藪があり、その
 足を手分けして探すが、一人がワラビーか
 四、五呎に伸びてゐる中に、土鑢すのあ
 る。発見した。インヤールを少し土を
 除けると、フ

10x20

5-2

クブクとパツツの一部分が見えた。穢されてこ
こに埋められ、その上には小枝を覆つてある。
友人達は直ちに村の警察に電話して、此處を
バ、時をうつつと馳せつけ、たゞ此處は他穢る件
と見えて、新西院の警察本部に急報し、探偵長が
やつて来て、屍体を掘り出して見ると、添田氏
に相違ない。添田氏の東隣りにドイッ系帰還
兵、独身者父子が豚飼ひをして居た。彼の豚
か添田氏の畑に乱入して、作を荒らすから常
に争ひを續けて居た。今一人、此隣りのイル
ウ

10x20

5-